

民衆の声
ボイス

公明党 横浜市会ニュース 第71号

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

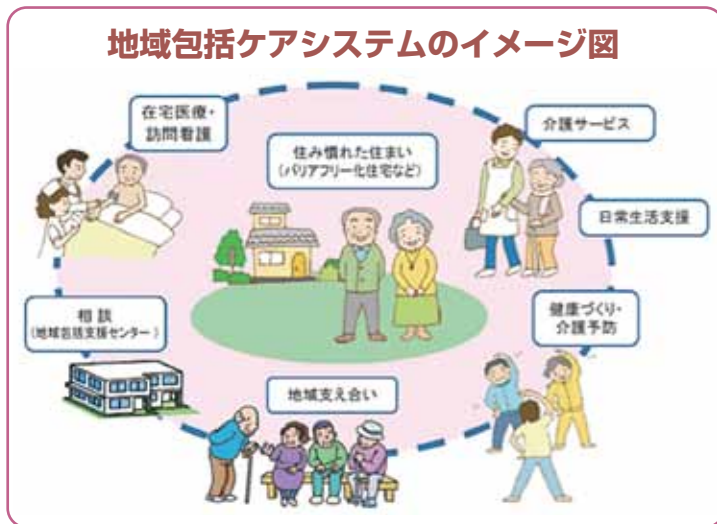


地域包括ケアについて議論した五大市政策研究会
7月には、厚労大臣に対し、『地域包括ケアシステム』の全国的な構築に向けた政策提言を行いました。

■公明党市議団の取り組み
超高齢社会を迎えた本市において、地域の実情に即した包括ケアシステムの構築が重要との認識の上、積極的に議会でも取り上げてきました。また、精力的に研究会や視察を行い、現場での意見交換も重ねてきました。



認知症対応施設の視察



■公明党が法制化をリード
6月、通常国会において医療や介護を見直す総合的な法律「医療・介護総合確保推進法」が成立しました。団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療と介護の需要が急激に増加することが確実です。住み慣れた地域で医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく利用できる「地域包括ケアシステム」。一段と進む高齢化に備え、公明党は推進本部を設置し、他党に先駆け実態把握や地方議員との意見交換などを重ねてきました。

■横浜市の地域包括ケアシステムの基本政策の一つに地域包括ケアシステムの実現を掲げています。2025年を見据え「地域包括ケア計画」を策定し、生涯現役社会の実現に向けた高齢者の活躍できる地域づくりと、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることのできる横浜型地域包括ケアシステムを展開します。

新たな地域づくりへ、地域のニーズを的確に把握し、経験、実績、ネットワーク力のある公明党が、皆で支え合う社会づくりをリードしていきます。



訪問介護の現場にて

支え合いと共生の社会へ 地域包括ケアシステムの構築を目指して

望月やすひろ通信 市政報告 Vol.25

災害に強いまちづくりを推進!

10月6日(火) 関東地方を通りぬけた台風18号は、土砂崩れやがけ崩れによる人的被害、床上・床下浸水、建物破損や道路の浸水など、市内に多くの爪痕を残しました。最大時間雨量は74.5mm、最大総雨量は344.5mmを記録し、市中西部を流れる帷子川、大岡川、柏尾川や境川では河川が危険水位に達し、避難勧告が発令されるなど、市民の生命や財産を脅かす状況となりました。

■鶴見川水系の総合治水対策

矢上川や早瀬川、鳥山川や砂田川などの支川を含む鶴見川水系は昔から「暴れ川」と呼ばれ、流域に度重なる水害をもたらしてきました。平成16年に施行された「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき、平成17年に鶴見川は全国で初めて指定され、日産スタジアムの鶴見川多目的遊水地や昨年完成した大規模な下水貯留施設など、総合的な治水策が進められてきました。



水が流入した鶴見川多目的遊水地

その結果、台風18号に

よる浸水被害は、遊水地や下水道施設など主な貯留施設に雨水が貯留され、鶴見川流域の浸水被害は最小限に止められました。

■安心な地域づくりへ全力投球

望月やすひろは、平成19年の一般質問で、鶴見川水系の河川整備と雨水幹線の整備について質問したことを始めとして、河川整備やヒートアイランド対策、ゲリラ豪雨対策の強化や下水道整備など、一貫して浸水(洪水と内水)対策の推進を図るため、議会でも発言してきました。

今後、さらなる雨水幹線やポンプ場の整備などのハード対策とあわせて、浸水ハザードマップの活用や雨雲・降雨情報を提供する防災情報などのソフト対策、それらを活用した防災教育や防災訓練等の推進に取り組んでまいります。



横浜市議員(港北区選出) 望月やすひろ



雨水幹線

決算審査から



横浜市会第3回定例会において、平成25年度の港湾局の決算審査を行いました。港町・ヨコハマの魅力は何と言っても「海」です。山下公園や赤レンガ倉庫、ランドマークタワーや大さん橋、ベイブリッジなど港を演出する多くの魅力ある建造物があります。

そこで、みなとの賑わいを演出する取り組みについて質問しました。

水上交通について

遊覧船や水上バスなどの水上交通。海だけでなく河川も利用した新たな交通モードとして、大岡川や堀川と磯子・金沢方面へ流れる掘割川を運河のように連絡する可能性を含めて、横浜市の水上ネットワークの今後の取り組みについて質問しました。

港湾局長は、河川管理者の神奈川県や街づくりを進める都市整備局などと連携し、今後、磯子・金沢方面との連絡も視野に入れた将来的な水上交通のネットワークの実現に向けて検討すると答弁しました。

環境にやさしい電池推進船を使用した水上交通の社会実験も行われています。みなとの賑わいとともに新たな市民や観光客の足として、横浜らしい交通ネットワークを期待します。

新たな客船バース(接岸施設)

都市インフラの総点検として、以前、横浜市議団で視察した横浜港の岸壁や護岸。老朽化が進んでいた新港9号岸壁は、新たな客船バースとして外国客船が着岸する岸壁として改修を進めています。今後のスケジュールについて尋ねました。

局長は、30年春の供用開始に向けて岸壁整備を進める旨、答弁しました。

横浜港は、外国客船の寄港数が11年連続で日本一。大さん橋は赤レンガ倉庫とともに、横浜の観光名所として賑わいを創り出しています。新たな客船バースができることで、さらなる外国船の誘致が期待できます。



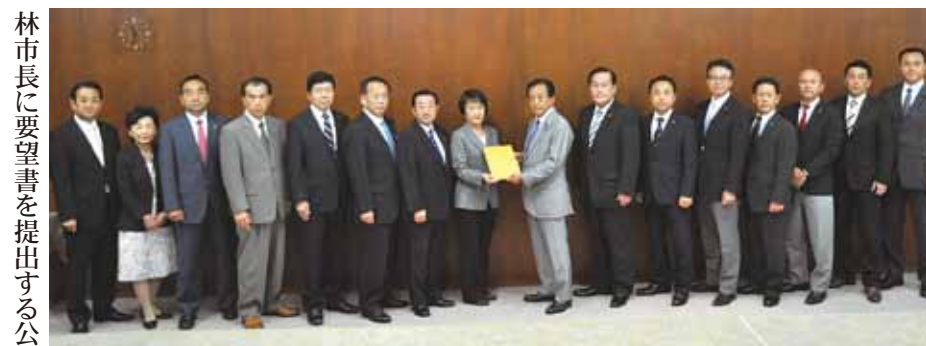
大さん橋

平成27年度予算編成に向け各種団体との政策懇談会を開催



公明党市議団は、毎年恒例となっている政策懇談会を開催しました。これには、党神奈川県本部代表・上田いさむ衆院議員、佐々木さやか参院議員も参加しました。各種団体からの要望を受けるとともに、施策の現状と課題について意見交換を行いました。今後、これらのご意見、要望事項を検証し来年度以降の政策課題に取り組んでいきます。

平成27年度「横浜市予算要望書」を林文子市長に提出



林市長に要望書を提出する公明党市議団

公明党市議団は10月21日、平成27年度予算編成に対する要望書を林文子横浜市長に提出しました。要望書は、重点要望62、重点要望198、各区重点要望77の計337項目で構成されています。具体的な項目として、防災・減災対策では、避難勧告や災害発生時の情報伝達体制の検討や情報弱者への対応強化、近年増加している局地的集中豪雨への対応などを要望しました。

その他、小児医療費助成の拡充や中学校屋敷としての横浜型スクールの導入、青少年への薬物乱用防止の啓発や中小企業支援など、市政全般にわたり要望をまとめました。

ウォーキングポイント事業

<http://enjoy-walking.city.yokohama.lg.jp>

ヨコハマ エンジョイ ウォーキング 検索

公明党市議団は、市民の健康増進と活力ある超高齢社会を築くため、多くの市民が、気軽に楽しみながら、継続して健康づくりに取り組んでいただけるよう、「よこはまウォーキングポイント事業」の推進をリードしてきました。いよいよ11月から事業が開始します。詳しくは、左記のホームページまたは、フリーダイヤル0570・080・130よこはまウォーキングポイント事業事務局まで。



平成25年度決算特別委員会の論戦から

消防局「がけ崩れへの対策について」



高橋 真一 (都筑区選出)

最近の集中豪雨に備え、がけ崩れなどの地域の危険箇所に対する巡回実施状況を確認するとともに土砂災害警戒区域の危険性を地域の方々に周知することの重要性を主張しました。

消防局長からは、消防職員が区役所・土木事務所と同行し状況確認を行っていること、土砂災害ハザードマップや避難場所とその経路の説明等を通し啓発を行うっていくとの答弁がありました。

病院経営局「市民病院移転・再整備における防音対策」



竹内 康洋 (神奈川区選出)

三ツ沢球技場の隣接地に移転する市民病院について、サッカーJリーグ開催時等の防音対策、さらに立地を生かしたJリーグとのコラボレーションの検討について質問しました。

局長からは防音対策について、コンクリート幅を15センチ以上確保すること、また、現在横浜のJリーグ2チームと連携を始めたとの答弁がありました。



交通局「障がい者施設との協働推進」



尾崎 太 (鶴見区選出)

交通局では福祉対策の一つとして、バスターミナルの清掃を障がい者施設とともに、現在までに10カ所で行っています。そこで今後、実施箇所のさらなる拡大を主張しました。

局長は、作業に従事している障がい者施設やバス利用者からも一定の評価を得ていることから、この10カ所での実績を重ね、今後内容を精査する中で拡大を検討すると答えました。



市民局「犯罪被害者への支援が拡充」



斉藤 伸一 (保土ヶ谷区選出)

公明党の提案で、平成24年6月に開設された犯罪被害者相談室の25年度の取組みを確認しました。

局長からは、相談者の気持ちに寄り添うために、例えば電話や相談室への来訪が難しい方に対しては、訪問し相談者のご希望を尊重しながら、活用できる制度についてご案内するなどの対応を図っていること、さらに、相談支援実績は、合計328件で、犯罪被害等に悩む多くの市民のために貢献している旨の答弁がありました。

教育委員会「知の拠点・図書館の充実を」



行田 朝仁 (青葉区選出)

図書購入予算が10年前の半分となっている実態、所在不明の図書が毎年平均約1万9千冊、蔵書全体の0.5%程度あることを指摘し改善を要望しました。教育長からは、改善を図る旨の答弁がありました。

経済局「女性の再就職支援について」



高橋 正治 (緑区選出)

女性が子育てをしながら企業で活躍し続けられる環境づくりについて質問しました。副市長は、中小企業を対象に、柔軟な就業時間の導入など、女性が働き続けやすい社内の仕組み作りのための支援をはじめ、関係局が連携し取り組んでいくと答弁しました。

都市整備局「コミュニティサイクル事業」



中島 光徳 (戸塚区選出)

コミュニティサイクル事業（ベイバイク）について質問しました。局長は、今年度中にすべての自転車台数が電動アシスト機能付きに切り替わり、起伏の大きい山手地区及び横浜駅・関外地区へエリア拡大を図る他、将来的には、三溪園までエリアを拡大し自転車台数1000台を目指し、1日利用も検討する旨の答弁がありました。

